



心(こころ)くん

# 3月号 銀杏

【学校教育目標】自立に向けて ともに磨き合う児童の育成

城南小学校だより  
田布施町宿井1039-1  
TEL 52-2559  
FAX 52-2503

## ともに歩んだ一年、そして次の一步へ

今年2月に開催されたミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手の活躍に毎朝一喜一憂する日々が続きました。日本は冬季五輪史上最多のメダルを獲得し、記録にも記憶にも残る大会となりました。多くの選手が、それぞれのドラマをもちながら活躍した大会だったと思います。

中でも、困難や挫折を乗り越え、最高の形で再起を果たしたフィギュアスケート「りくりゅうペア」の演技は、多くの人々の心を打ちました。ショートプログラムでのミスを乗り越え、自分たちとペアを信じてやり抜いた末の金メダル。その演技は、まさに「すごい、すごい、すごい、宇宙一！」という解説がぴったりの素晴らしさでした。

また、メダルには届かなかったものの、開幕直前の事故で複数の骨折を負いながら出場した平野歩夢選手の演技とコメント「今しかできないことを 今 大事に また強くなって戻ってきます」には、深く心を動かされました。

その姿は、困難に立ち向かう勇気と、未来を信じる力の大切さを教えてくれました。子どもたちにも、どんな時も前を向いて歩む力を育てていきたいと、改めて感じました。

スポーツは試合の結果だけでなく、選手の姿勢や言葉からも多くの示唆を与えてくれます。平野選手の言葉は、「チャレンジすること、そして結果よりも過程を大切にすること」の重要性を、私たちに改めて教えてくれました。

さて、しめくくりの3月となりました。本年度は「地域と共にスクールワイドPBSを推進すること」「地域と共に学ぶ学校づくりの深化」をテーマに、教育活動を進めてまいりました。

スクールワイドPBSでは、「自分からあいさつをする」「ふわふわことばを使う」といった取組が浸透し、学校全体がこれまで以上に明るく、温かな雰囲気になっています。「望ましい行動→実践→認める・ほめる」という流れが、子どもたちの自己肯定感を高める好循環となっています。

地域との連携においては、これまでの良さを大切にしながら、新たな取組にも挑戦しました。地域の方々と関わる機会が増えたことで、子どもたちの人間関係もより豊かになり、「城南プライド＝地域愛」も一層深まったと感じています。私自身も、地域の皆さまと関わる機会を多くいただき、城南への深い愛情と学校への期待を強く感じる一年となりました。

来年度も、今年度の取組をさらに発展させ、「地域と共に学ぶ学校づくり」に努めてまいります。今後ともご支援とご協力、そして子どもたちへの温かいお声かけを、どうぞよろしくお願いいたします。

(校長 木村昌浩)

城南小学校のホームページは、右記のQRコードからご覧いただけます。  
「子どもたちの様子」等は随時更新していますので、ぜひご覧ください。

